

木造観音菩薩立像

もくぞうかんのんぼさつりゅうぞう

市指定
所在地：桑原



やや左に腰をひねり、右手を垂下し、折った左手に蓮華を持ったポーズで静立している。

後補により彩色が施され、当初の像容を損じているものの、体■と一体化した天衣、浅い彫りの衣文、穏やかな面相など、平安時代後期の観音像の特徴を備えている。台座、光背及び持物は後補のものである。

地方仏師の手によるものであるが、丹波地域の仏像彫刻の有様をうかがう上で貴重な作品である。

毘沙門堂所在。

像高108cm。